

平成 30 年度 新潟市新津鉄道資料館第 2 回運営協議会 会議録

■日 時：平成 30 年 12 月 3 日（月） 11：00～12：30

■会 場：新潟市秋葉区新津地域学園 301 研修室

■参加者：新津鉄道資料館運営協議会 金山委員、帆苺委員、南雲委員、澤野委員、野本委員
斎藤委員、奥原委員

新津鉄道資料館事務局 高山館長、水澤副館長、岩野学芸員

（以上 10 名）

■傍 聴 人：0 人

■資料配付：新津鉄道資料館運営協議会次第及び別紙 1～6

■意見聴取：1 報告事項

- 1) 平成 30 年度上半期事業報告
- 2) 平成 30 年度上半期実績報告
 - ①上半期入館者実績報告
 - ②上半期各月実績報告
 - ③ミニ S L 実績報告
- 3) 平成 30 年度上半期アンケート集計結果報告

2 協議事項

- 1) 平成 30 年度上半期事業
- 2) 平成 31 年度事業方針
- 3) 平成 31 年度事業計画
- 4) 新津鉄道資料館資料整理計画
- 5) その他

（事務局から案件を説明し、その後に意見聴取をおこなった）

高山館長	定刻になりましたので、ただ今より第 2 回新津鉄道資料館運営協議会を開会いたします。次第に基づき進行してまいります。本日、小沢歴史文化課長が所用のため欠席となります。みなさま方にはくれぐれもよろしくとの伝言です。 続きまして自己紹介に移らせていただきます。この度、J R 東日本鉄道文化財団より選出いただいていた葛西委員が人事異動により別部署に異動になりました。そのため今回より奥原学芸員に変更となりました。各委員のみなさまには自己紹介をお願いいたします。
各委員・事務局	（各自、自己紹介）
高山館長	ありがとうございます。 それでは今後の進行を金山会長お願いいたします。

金山座長	<p>一言ごあいさつ申し上げます。</p> <p>新津に来るたびに思うのですが、この資料館は非常に地域との連携がうまくいっていると感じます。商店街も来るたびに元気になっているように感じます。この資料館を発展させていくことが地域の発展にもつながっていくのだと思います。私も委員の一人としてお役に立てるよう努めていきたいと思っています。</p> <p>よろしくをお願いします。</p>
金山座長	<p>それでは会議次第に基づいて進行してまいります。事務局、事業報告を一括して説明をお願いします。</p>
水澤副館長	<p>別紙1「平成30年度上半期事業報告書」をご覧ください。主な事業のみ説明させていただきます。</p> <p>GWの4月28日から4月30日に鉄道模型走行会を実施しました。模型走行会は上半期3回実施しています。GWでは実物車両公開も実施しています。JR新潟支社と連携しSL・DLばんえつ物語号に当館学芸員が乗車しての出張講座を5月、6月、9月の計3回実施しました。往復2回の講座で各日70人程度の参加でした。5月以降は一般参加事業の「鉄×フォト」「鉄道七夕まつり」などを実施し好評でした。7月には夏休み向けの企画事業として「鉄道凧作り」「親子鉄道模型教室」を開催し計25組の親子連れが参加しました。7月14日から9月3日まで新潟駅の高架化を記念した特別展「新潟 駅図鑑」を開催しています。県内の主要駅の変遷を展示し、たくさんの方々でにぎわいました。7月28日、29日には「サンクスフェア2018」を開催しました。2日間で延べ4,500人が来場しました。8月には特別展記念講演会を開催し長岡大学松本和明教授より「港町新潟の鉄道駅」と題し、新潟港と鉄道駅に関わる鉄道史について講演いただきました。また8月は資料館内で実物車両を巡るスタンプラリーを開催し修了者にはオリジナルポストカードを差し上げました。長期事業については4月から巡回バスを運行し延24日間約3,800人が利用しました。ボランティアによる鉄道運転シミュレータ指導を行いました。4月から10月末までミニSLの運行を毎週土日・祝日に行い約9千人が乗車し、新しい資料館の魅力として好評でした。当館の協賛・後援事業としてJR新潟支社、新津商店街、鉄道友の会新潟支部など幅広い団体と協力して各種事業を実施しました。</p> <p>別紙2の「平成30年度上半期新津鉄道資料館入館者実績」をご覧ください。</p> <p>上半期は昨年と比較し来館者は約8,500人の減少でした。率にして前年比マイナス18%でした。昨年のような新規車両展示など、マスコミに注目される事案が少なかったことなどが要因として挙げられます。なお、月ごとの詳細は別紙2-2、ミニSLの乗車人数の内訳は別紙2-3をご覧ください。</p>

岩野学芸員	別紙3の「平成30年度上半期アンケート集計結果」をご覧ください。回答率は約1%です。回答者数は来館者数に比例しています。世代別ではすべての年代で満遍なく来館してくれています。人数は2人～4人の家族連れが多く、来館のきっかけは県外の方はWEBや旅行雑誌で情報を収集してからの来館が多いようです。来館の比率は県外の方が昨年度より割合が上がって58%、市内24%、県内16%で県外客の割合が多い傾向です。市内では人口の割合によるのか西区が24%と地元秋葉区を越して最も多い状況です。一昨年まで少ない割合でしたが保育園や幼稚園への地道なチラシ配布の効果があらわれたようです。次いで秋葉区22%、中央区17%でした。秋葉区に隣接する江南区、南区が少ない傾向にあるのでPRについては今後、重点的に行っていく必要があると考えています。来館目的は鉄道趣味の割合がもっとも高く、旅行も観光と鉄道旅行を合わせると28%と高い傾向にあります。県外からは鉄道、旅行目的で、市内からは家族サービスなど子どもを連れてくる施設として利用されている傾向にあるようです。記述事項について良かった点としては実物車両や展示資料が新潟の特色が活かされている点などがあげられます。要望では施設のバリアフリー化を求める意見や新津駅からの二次交通の不便さを訴える点が多いのが特徴です。
金山座長	各報告事項に各委員のみなさん、何かご質問・ご意見がありますでしょうか
齊藤委員	前回の会議でアンケート内に「どの展示に興味があったか」の項目を追加してほしいという要望を出したのですがどうなりましたか。
岩野学芸員	今年度のアンケートフォームは集計上、変更できないので次年度から追加していく予定にしています。
金山座長	職員サイドから来館者の動向としてどの展示に興味があるように感じていますか。
岩野学芸員	実物車両と運転シミュレータなどが人気です。また新潟ならではの地域の展示に興味があるように感じています。親子連れにはキッズコーナーが人気です。
齊藤委員	ボランティアとして当館を見てきた意見ですが作業的に大変なサンクスフェアと特別展は今後も1週間程ずらして開催したほうが良いように感じます。 また鉄道で来館される方のことを考えると7月後半であればJR青春18きっぷが使えるので全国からの誘客にも繋がるかなと思います。
水澤副館長	今年は新潟開港150周年事業が7月中旬にあり、その影響でサンクスフェアの開催日を今までより2週間ずらして実施しました。特別展との同時開催は作業的には大変なのですが同時開催することで来館者の増加に影響しているのでは、とも考えています。また、昨年までのように3連休に開催すると県外の方が来館しやすくなる傾向にあるので次年度以降は連休内の2日間を開催予定日にしています。特別展との同時開催は作業量も勘案して開催日程を検討していきます。
金山座長	来館者数の確保は施設としては大事なことです。市にとって資料館が観光や文化面において来館者数を増加することで例えば新規整備などの事業に繋がっていくので

金山座長	<p>はないでしょうか。</p> <p>それでは協議事項に入ります。事務局説明願います。</p>
水澤副館長	<p>別紙4「平成30年度下半期事業」についてです。下半期事業は年度当初説明申し上げた事業を予定通り実施します。追加事業として現在実施している「紙ひも鉄道アート作品展」や各中学校からの「総合学習事業」に暫時対応してきました。</p>
岩野学芸員	<p>別紙5「平成31年度事業方針」をご覧ください。</p> <p>全体方針としては次年度も市の新たな魅力づくりに貢献し交流人口の拡大を一層図っていきたくと考えています。具体的な事業方針としては4点掲げています。</p> <p>1点目は各種事業を通して集客を目指していきます。組織目標を定め「鉄道の街にいつ」のブランドを活かし全国からの集客を図っていきます。2点目は施設として運営のノウハウを蓄積していきます。次年度以降は特に長期的な資料整理を本格的に開始することや施設運営に関する手法などを共有し、積極的に活用していくことに重点を置きたいと考えています。3点目は地域と長期的且つ、安定的な関係を構築していきます。地域における拠点施設としての役割を果たしていきます。4点目は当市の新たな魅力づくりを図っていくことです。</p> <p>具体的な取り組みについては特別展事業として長年、新潟の観光列車として走って来た「きらきらうえつ」が来年度から「海里」に代わることを受け「鉄道で旅する新潟」と題し新潟の観光列車を取り上げてみたいと思います。多目的スペースでの新規企画展は南区月潟で車両保存活動をしているかぼちゃ電車保存会との協働事業を予定しています。また、教育普及では近隣の小中学校に出前講座を提案していきます。</p> <p>「平成31年度新津鉄道資料館事業計画」については別紙6に記載してありますのでご覧ください。</p> <p>別紙7をご覧ください。今年度より収蔵資料の再整理を行いたいと考えています。リニューアル後に寄贈資料が増加したため長期的に対応する必要があるためです。リニューアル前の資料約1万点の整理については一旦、平成26年度に実施していますが整理方法を変更し、新分類体系に移行させつつ雑誌、資料等によって分類方法を勘案しながら実施していきます。新分類体系への移行は今後、予想される当館の新規整備や希望の多い閲覧事業などへの対応の一環としても考えています。具体的な整理作業内容は鉄道博物館の資料整理方法を参考にさせていただきながら実施していきます。</p>
金山座長	<p>以上の説明で質問、意見等ありましたらお願いします。</p>
澤野委員	<p>既存資料のデータのバックアップはどうなっていますか。</p>
岩野学芸員	<p>外部業者のサーバーにバックアップデータは保管していますので大丈夫です</p>
南雲委員	<p>教育普及事業で学校へ出前講座は是非、取り組んでいただいて、その際にマスコミに取り上げていただきながら資料館の宣伝につなげていったらどうでしょうか。</p> <p>また、資料館のガイドブックが是非、欲しいですね。30P位でしっかりとした造</p>

	りで販売する前提でもよいと思います。新潟市の他の文化施設でも販売していますが、とても便利でありがたいですよ。
岩野学芸員	わかりました。今後、発刊に向けて検討させていただきます。
金山座長	周りの人たちに資料館の必要性をもっと知ってもらい取り組みも必要だし、講座や資料整理の取り組みを地元新聞等に紹介してもらいたいのではないのでしょうか。
水澤副館長	講座等の紹介は大丈夫なのですが、収蔵庫での資料整理はテレビや新聞に映り込んでしまうと難しい資料もあるものですから。なかなか難しい点があります。
南雲委員	今、資料館が収蔵している資料は一般の人が見ることができるのですか。
水澤副館長	残念ながらできません。資料整理が終了するまでは無理かと思います。
金山座長	寄贈を受けた資料の価値をもっとアピールしたらどうですか。
岩野学芸員	資料整理はリニューアルに比較すると後手に回っていて収蔵庫が少ないせいもあり現時点でもはっきりと落ち着き場所が定まっていない状況です。いずれは収蔵庫ツアーや暫時、公開なども視野に入れていきたいのですが、いずれにしても資料整理事業が最優先の課題になっている現状では収蔵資料を公開する事業は限界があると思っています。
金山座長	それでは、資料整理が進んで状況とタイミングがあつたら何らかの形で取り組んでくれることを要望しておきます。
岩野学芸員	わかりました。
帆苺委員	地域にはまだまだ個人所有の資料が多数眠っています。我が家も父親が国鉄職員だったせいもあり現場の写真が多数保管しています。特に事故現場の復旧作業の写真などはたくさんあります。
水澤副館長	地域の資料を散在することなく、なんとか当館の資料として集約していきたいと思っています。地域にチラシで回覧を回したこともありますが、それでも資料はまだ地域にはたくさんあると聞いています。今後も集約できるよう呼びかけていきます。
齊藤委員	昔の事故報告を今後の安全対策に活かすためにあえて展示している施設も少なくないので今後にそのような資料を活かすことも大切だと感じます。 資料館の設備計画があるのでしょうか。また実物車両の照明を安全対策や見やすさのためにつけてもらえないのでしょうか。
水澤副館長	事故写真等の展示は今後の安全対策に活かす意味では重要と考えますが、どの視点で展示するかでも受け取る側の意識は大きく変わってくると思います。慎重に考えていかねばならないと思います。館の設備計画は現時点ではありません。リニューアルしたばかりで大きな設備改修の必要は今のところない状況です。実物車両の照明はどこまでできるか専門家の意見も聞かねばならないので次回以降の会議までお時間をいただきたいと思っています。

奥原委員	<p>教育普及と資料整理は大変重要だと思います。資料整理はなかなか目の見えないことですが、今年実施した鉄道博物館のリニューアルでも、交通博物館時代から収集し整理してきた資料があったおかげで、常設の歴史展示を作り上げることができました。このように資料整理はすぐには活かすことができないかもしれませんが、いずれ役に立つ時が来ます。</p> <p>教育普及についてですが、鉄道博物館では意外と鉄道マニアの来館者は少なく、ファミリー層が全体の6割程度を占めて多いのが現状です。一時期こういった方向けのイベントを数多く実施していたのですが、そのせいか館内で質問を受ける機会が減ってしまいました。当館を博物館と認識し、疑問点を聞いてくるような層が少なくなってしまったようです。一方に偏った事業を続けるとこうした事態も起こるということだと思います。</p> <p>鉄道に関心を持つ方とファミリー層の両方の満足度を高め、いかにリピーターになってもらうかは大きな課題で、来館者を増やすための教育普及と今後の鉄道展示の充実を図るための調査研究のバランスが大事だと思います。どちらも続けていかなければならない事業だと思います。</p>
岩野学芸員	<p>その通りだと思います。今までは資料整理が後回しになってきたので、今後はしっかりとバランスをとって事業に取り組んでいきたいと思っています。</p>
野本委員	<p>新津のまちなかには全国、中には国外から鉄っちゃんがたくさん来ますので、より多くの人たちを資料館に誘導していきたいと考えています。今後も各種事業を資料館と一緒に取り組んでいきたいと思っています。</p>
金山座長	<p>各報告事項に各委員のみなさん、全体を通して何かご質問・ご意見がありますでしょうか。</p> <p>私からの意見です。新津鉄道資料館の来年度の全体方針に「地域の鉄道に関する資料の収集・保管を踏まえて」を加えて、具体的な方針の中に「地域の商店街の活性化を図る」項目を付け加えてもらいたいと思います。</p>
水澤副館長	<p>わかりました。</p>
金山座長	<p>他に質問、意見等が無ければ以上で次第のすべての案件を終了します。</p> <p>司会を事務局にお返しします。</p>
高山館長	<p>ありがとうございました。以上をもちまして平成30年度第2回新津鉄道資料館運営協議会を終了いたします。ご参集の皆さま、大変ありがとうございました。以上をもちまして閉会いたします。</p>